

二十年の歩みを胸に 新たな挑戦の年へ

南三陸町長 千葉 啓



新しい年の始まりにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
町民の皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心から喜び申し上げます。
昨年は、本町が合併20周年という大きな節目の年でありました。町の歩みを振り返りますと、東日本大震災からの復興に、多くの町民の皆さまとともに取り組んできた道のりがあります。これまで町を支え、未来につながる基盤を築いてこられたすべての皆さまのご尽力に改めて敬意と感謝を申し上げます。
その一方で、全国では自然災害や火災、野生動物による被害が相次いだ一年でもありました。2月には岩手県大船渡市で大規模な山林火災が発生し、地域の生活環境や産業に大きな影響を与えました。また、各地

でクマ出没による被害が急増し、地域社会に不安が広がるなど私たちの生活を脅かす新たな課題も浮かび上がりました。本町でも、自然と共生する地域の特性を踏まえ、日ごろの備えや情報共有、関係機関との連携の重要性を改めて認識したところであります。
東日本大震災からまもなく15年の歳月が経過しようとしております。本年は、震災からの復興の歩みをたしかなものとし、将来を見据えた「町民生活第一」のまちづくりを着実に進めてまいります。地域医療の維持と安心できる福祉体制の整備、子育て・教育環境の向上、さらには農林水産業の再構築と地域産業の活性化に取り組んでまいります。また、持続可能な地域社会の実現に向け、地域の特色を生かした交流施設の設

置などによる交流人口・関係人口の拡大、デジタル技術を活かした行政サービスの向上に取り組むとともに、事務事業の見直しなどサービスの質を維持・向上させながら持続可能な行財政運営を行ってまいります。
人口減少が続く中であっても、地域コミュニティのつながりを守り育てることは、本町の未来を形づくる上で欠かすことができません。町民の皆さまが互いに助け合い、支え合い、安心して暮らすことができる町を実現するため、行政として全力で取り組んでまいります。
結びに、本年が町民の皆さまにとりまして健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

新たな気持ちで臨む町づくり

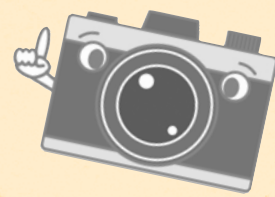
南三陸町議会議員 菅原 長雄



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこと、心から慶び申し上げます。
日頃より町議会の活動に対して、深いご理解と格別なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
昨年は、町長・町議会議員の選挙が行われ、本町は新たな体制で歩み始めました。
長年の課題であります少子高齢化、人口減少問題に加え、世界規模の気象変動による自然環境の変化、それに伴う一次・二次産業への影響など、新たな課題が次々と発生しておりますが、社会はそうした課題に対応す

るため、ものすごく速いスピードで変化し、順応しているのが現状であります。裏を返せば、順応できない自治体は衰退していくものだと危機感を持っております。
そうした社会の波に乗り遅れないためにも、本議会といたしましては、議会として、あるいは議員個人としてのスキルアップを図り、議会全体としての資質を高め、時代の変化に柔軟かつ迅速に対応出来る体制を構築しなければならぬと考えております。
そのために議会や町政に対する町民皆さまの声を広く聞き、ご意見を真摯に受け止めながら、町政の課題を的確に捉えるとともに、前例に

とられない発想に富んだ政策提言ができる議会を目指してまいりたいと考えております。
町民のための議会として、町の発展と安心・安全、そして、心豊かに暮らせる持続可能な町の実現に向け、町並びに町民皆さまと力を合わせてまいります。
本年も町議会に対しまして、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が町民皆さまにとって希望に満ちた笑顔あふれる1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



みな
レポ

全国へ南三陸の水産物の魅力を発信！

11月30日(日)、東京で開催された「第11回Fish-1グランプリ」に宮城県漁業協同組合から戸倉Seaboysが参加し、国産水産物を使用した郷土料理や創作料理を競うコンテストで2年連続のグランプリを獲得しました。



出品料理は「漁師が丸ごと包んだ！海の幸ごちそうタコス」。

参加したメンバーが育てる牡蛎や銀鮭、ワカメなど宮城のプライドフィッシュや名産のタコなどをふんだんに使い、戸倉星農場で育てたケールやバジルのソースを和えた料理が多く来場者の支持を集めました。

企業版ふるさと納税で 町を活性化

11月20日(木)、株式会社ビーエイブル様より企業版ふるさと納税のご寄附(10万円)をいただきました。今回のご寄附は、地域のちからを輝かせる事業に活用されます。

町では、こうした支援を力に、地域の持続的な発展に向けた取り組みをさらに進めていきます。



私が冬休み防災無線放送を担当しました

町では、防災行政無線を活用して、冬休みの期間中、子どもたちが安全に帰宅できるよう帰宅促進放送をしています。

今回は、入谷小学校6年生の菅原颯斗(はやと)さんが担当しました。

菅原さんは「最初は緊張したが、町民皆さんが聞きやすいように間をあけることを意識して頑張りました。」と感想を話してくれました。

